



発行 / 日本共産党
那珂市議会議員
木村 静枝
菅谷 4494-1
TEL/FAX 029-298-2064

国民の立場でわかりやすく
真実を報道し解決策を示す

しんぶん 赤旗

日刊 2900 円 / 日曜版 800 円
ぜひお読みください

議会報告 116 2005 年 4 月 25 日

「三位一体の改革」と合併により財政はガタガタ 事業計画の延期や廃止 市民サービスの低下

合併後初の平成十七年度予算成立

日本共産党は反対

平成一七年度第一回那珂市議会定例会は三月七日から二十三日まで十七日間開催されました。

那珂市となつてから初めての通常予算や条例改正等が審議され、賛成多数で成立しました。議員は三十八人となり、審議が活発になりました。一般質問をした議員は十人で、人数が増えた割には少なかつたと思います。

合併後初めて編成された予算について、市当局は「市税収入や地方交付税の伸びが見込めない一方、扶助費等の義務的経費が増大し、依然として大幅な財源不足が生じる中、新市建設計画を計画的に実施していくため、事務事業の見直しや経費の削減を図り、また合併特例法に基づく財政支援措置を活用しながら、住民が真に求めている事業を厳選し、予算配分を行った」と述べています。

具体的に予算の内容をみると、今まで計画的に実施されてきた事業が延期されたり、廃止されたりしています。サービスの低下もみられます。「合併してすぐはよくならない、効果はもう少し先」と市は言っていますが、実際に効果が上がるよう運営をしっかりとやってもらいたいと思います。

木村静枝議員は、新年度予算等について反対をし、討論を行いました。反対の主な事業は次のようなものです。

五台小学校大規模改造事業の延期

五台小学校は建ててから三十年以上経って

おり、昨年度は新事業としてスタートしたばかり。老朽化し雨漏りもするので、早期建設が求められている。

茨野住宅建設費 0円

昨年度予算は八百八万円で測量・基本設計が行われた。市営住宅入居希望者は多く、いつも高倍率で、入りたくても入れない状況。

学校図書館司書は九人から五人に削減

今まで中学校に一人ずつ、小学校には二校に一人ずつ配置されていた司書が、今年度は各中学校区に一人ずつとなった。子供たちの読書意欲に大きな貢献をしているのに後退は残念。

給食センター統合のため改築設計に三百万円

新築してまだ二、三年の瓜連給食センターを廃止し、那珂給食センターに統合、一か所で五千食以上の給食をつくるのは、食の安全安心から言っても問題。「食育」より効率優先では子供たちの体も心も守れない。

御前山ダム建設負担金千二百三十八万円

御前山ダムは国の直轄事業で畑地灌漑用水ダムとして建設されているが、何を作っても採算がとれず、後継者不足で耕作放棄地は増え続けており、自然を破壊し必要もないダム建設負担金は認められない。

国民健康保険税は引き上げられ、介護保険サービスからは「入浴サービス」がなくなり民間まかせとなった。

水道事業会計は水道料金が高くて払えない人が増えているのに、財政健全化、効率化が最優先され、福祉の視点が抜け落ちている。

合併特例債事業は六つ

国が市町村合併を進めるために特別な借金を認めるもので、元利償還の三割負担で借金がで

- 1 道路改良舗装事業 三億五三八一万円
- 2 菅谷市毛線街路整備事業 一億二六七万円
- 3 上菅谷停車場線街路整備事業 一億七〇一九万円
- 4 瓜連駅南停車場線街路整備事業 一億二二九万円
- 5 下菅谷地区まちづくり事業 四六二四万円
- 6 消防施設整備補助事業 三二〇〇万円

木村静枝の

一般質問

障害者や高齢者のために「福祉タクシー制度」を

運営協議会を立ち上げ早急に対応していく

「福祉タクシー制度」については、以前にも一般質問で取り上げたことがありますが、その時の答弁では「外出支援事業を立ち上げて対応する」というものでした。

しかし「外出支援サービス事業」は歩行が困難な人や車椅子の人だけしか利用できず、車椅子のまま乗れる車両を使って、有償でサービスを受けるものです。その他の障害者や高齢者は利用できません。

今後高齢化が進み、障害者や足が弱い高齢者も多くなります。病院への通院や福祉施設への移動など福祉タクシーが求められています。「福祉タクシー制度」がないのは東北地域では那珂市と大子町だけです。

木村静枝議員は「いつでもどこでも利用でき、不況で仕事が減って困っているタクシー運転手のためにもなる『福祉タクシー制度』を那珂市でもつくってほしい」と要求しました。

保健福祉部長は「通院に限っては平成十六年十月から介護保険や支援費ともに乗降介助が新設され、ヘルパーが事業所の車を使って、受け付けや会計精算を含む病院への送り迎えができるようになった。実施しているのは現在市内ではまだ一か所であるが、同じようなサービスでNPO法人による外出支援サービスがひたちなかにあり、那珂市もそのエリアに入っており利用できる。現在高齢者、障害者(児)が通院、会合への出席、買い物などに利用しており、市内では六十八名が利用している。視覚障害者の人に対しては「手引きサークルひばり」というボランティアグループがあり、会合や交流会などに参加する時、車による送迎を行っている。

しかし、平成十六年三月に有償の移送の場合は道路運送法による許可が必要になり、許可を得れば白ナンバーでも移送サービスができるようになった。その条件として運送の必要性等について、市町村が主宰する運営協議会(公共交通機関の代表であるタクシー業界の代表や福祉関係の代表などで構成)の協議が必要になってくる。福祉タクシーへの助成については、その協議会の動向を踏まえた上で実施するかどうかが検討していききたい」との答弁がありました。

市長からは「来年三月までには許可制になるといことなので、社会福祉協議会やボランティア、NPO法人などの団体と運営協議会を早急に立ち上げ、福祉タクシーも含めて外出支援サービスができるよう支援していききたい」と積極的な答弁でした。一日も早い実施を望みます。

今回の請願・陳情

「地方財政の拡充を求める請願書」

紹介議員 木村静枝

審査委員会 総務常任委員会

審査の結果 採択

請願の趣旨は「今多くの自治体が深刻な財政危機に直面しているが、住民福祉の増進のため、これ以上国庫補助負担金や交付税を削減しないよう国に求める意見書を提出してほしい」というものです。

審議では「趣旨は理解できるので採択はする。しかし昨年六月に意見書を出したので今回は出さない」というものです。

木村静枝議員は本会議で「これでは採択した意味がない」と反論しました。

「北朝鮮による拉致事件について最も詳しく記述している中学校公民教科書の採択を求める陳情」

審査した委員会 教育厚生常任委員会

審査の結果 不採択

陳情の趣旨は「北朝鮮による拉致事件について、記述が最も多い教科書を採択すること、また国家主権や我が国の安全と防衛、領土問題の意義を説いている教科書を採択することを求めるもの」です。

審議の中で「教科書の忠実性、公平性、正確性を重要視するという観点から、拉致事件が記述されている教科書は一社しかなく、採択が決まってしまうので疑問」や「教科書採択は教育現場に任せ、教育関係者の自主的な判断によって決めるもの、政治の側が決めるものではない」という意見が出され、教育厚生委員会でも本会議でも不採択になりました。

ニュース問答 「つくる会」教科書がまた合格したね

のぼる 侵略戦争を美化する歴史教科書がまた、検定で合格したね。

のぼる 日本政府はまかりなりにも「侵略と植民地支配」によって多大の損害と苦痛を与えた

みどり 「新しい歴史教科書をつくる会」の人たちが書いた中学校の教科書ね。四年前に出たものの改訂版じゃないか。

のぼる 前回の教科書の大変な批判が起きて、学校ではほとんど使われていないんだ。

みどり たしか特攻隊員の遺書や戦艦沈没の遺書も載せて「お国のため」に死ぬことが素晴らしいことのように書いていたけど、今回はなくなりましたね。

のぼる あのページを読んだお母さんたちが「戦前のように子どもを戦場に送るわけにはいかない」と反対行動に立ち上がった。だからそついでに露骨な記述は減らしたんだろね。

みどり でも、子どもたちに「日本は正しい戦争をやったと教えよ」とする意図はまったく変わっていないよね。

のぼる 日本が戦争をしたのは「生存自衛のため」だったアジアの人々に「独立への夢と勇気を育んだ」と書いてる。

みどり 台湾や朝鮮を長い間植民地にしてたのに、「アジア解放のため」だったなんてよくいえるもんだね。

のぼる 日本が戦争をしたのは「生存自衛のため」だったアジアの人々に「独立への夢と勇気を育んだ」と書いてる。

みどり 「つくる会」の人たちは「これまでの教科書は日本の悪いくさばかりとけりあげてきた。だから自分の国に誇りを持って子どもが増えているなんていってね。

友好関係に障害 事実を隠したって本当の誇りは持てないよ。侵略の歴史を知らされていなくてアジアの人たちとの友好関係を築いていくうえで障害になってしま

みどり 過去を反省して一度やり直さないと誓っているよ。法ができたんでしょ。そのことこそ誇りにしていいはずよ。

のぼる 侵略戦争を美化する人たちは、改訂も主張しているよ。ね。自民党や民主党的の国会議員も公然と「つくる会」を後押ししている。

みどり 「つくる会」教科書を採択させない運動を草の根からひろげないかね。

一〇〇五年四月十日、いんぎん赤旗、より